

予告品種

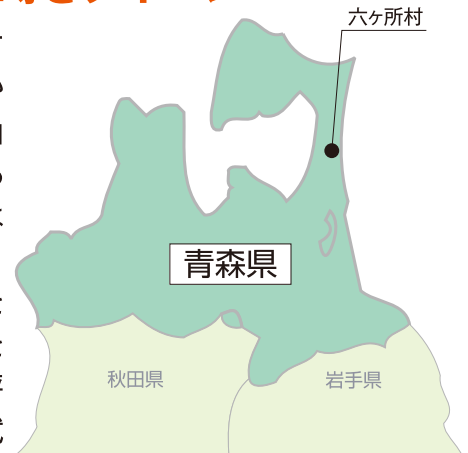
# NX-BR892 ダイコン

## 晩抽性No.1! 抜群の形状を誇る5月蒔きダイコン



▲やませが立ち込める栽培圃場

青森県は6月から11月にかけて出荷する夏ダイコンの主力産地です。そのなかで5月播種、7月収穫のダイコンは「晩抽性」、「耐暑性」、「耐病性」が求められる難しい作型です。生産者も品種選定には毎年頭を痛めています。このたび、弊社では上述の3つの条件を高いレベルで有した「NX-BR892」を試作展開し、試作者の皆さまから高い評価を受けました。青森県六ヶ所村での試作結果をご紹介します。



### 「NX-BR892」にはこんなメリットがあります!

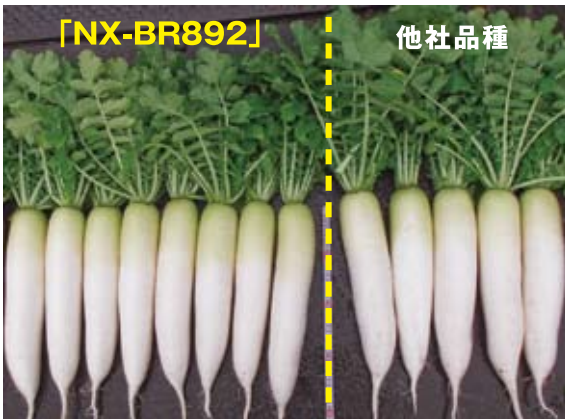
「NX-BR892」は低温に鈍感で抽苔の発生が少ないのが最大の特長です。2013年4月下旬、北海道・東北地方に強い寒気が発生、最低気温が氷点下近くまでになり、栽培した多くの品種で抽苔が発生しました。しかしながら、「NX-BR892」はまったく抽苔が発生しませんでした。

青森県推奨作型:5月上中旬播種(べたがけマルチ栽培)



**抽苔ゼロ!!**

▲抽苔、青肉、ス入りが無い



### 形状、肌質良好でよく揃う!小葉で曲がりも少ない!

「NX-BR892」は肥大性、伸長性ともに良好で尻詰まりのよい揃った形状となります。また、葉はコンパクトですが、短根の発生は少なく、他社品種のような曲がりの発生が少ないです。肌質はテリ、ツヤ感にあふれ、高い市場性を有しています。また、青首は淡色で内部緑変とならないので、業務加工用としても最適です。

◀7月10日収穫(播種後約60日目)べたがけマルチ栽培「NX-BR892」の素晴らしい揃いに注目してください!

### 5月蒔きの栽培ポイントと注意点

- ・元肥はやや控えめにチッソ成分量6~8kg/10aを目安とする。
- ・播種後55~60日で収穫適期となります。Lサイズでの出荷に最適です。2Lサイズ以上で収穫する場合、条件によっては裂根しやすくなるので注意してください。
- ・近年発生が増えている「亀裂褐変症」対策
  - ①耕起は適湿の状態ですぐ浅くおこなう。前作の残さ、未熟な有機物の分解を早めにおこなう。
  - ②元肥は播種日から15日以上前に施肥、耕うんする。
  - ③播種前に農薬を土壌混和する。



亀裂褐変症の症例